



第14期第6回 概要報告

令和5年7月20日、第6回生涯学習推進委員会議が開催されました。前回に引き続き分科会に分かれ、活発な議論が行われました。以下、概要をお伝えいたします。

1. 現在議論している2つのテーマについて

○前回会議の課題事項について資料を提示

1. 「部活動の地域移行に伴う生涯学習の役割」

…教員・部活動指導員・外部指導員の配置状況を提示。

各学校の事情、保護者のニーズ、教員の意識や部活スキルの違いによる継続性の問題もある。千代田区は『ゆる部活』を前提とした地域コミュニティの連携が核となる。生涯学習の観点では連盟や団体もあるが、生涯学習人材を主体としたコーチの育成などは高齢化問題もあり積極的な部活動への関与は厳しい現状がある。しかし子どもの成長を考えたとき、地域の接点となり、地域移行のメリットとなる。教員の多忙、少子化の問題はあるが今期では議論の対象を公立中学校メインとするなどの意見があった。

2. 「千代田区の特性を踏まえた生涯学習のありかたについて」

…「ちよだ生涯学習カレッジ(ちよカレ)」カリキュラム、卒業後などについてちよカレ事務局にヒアリングを行い結果を提示。

【現在の課題】

定員割れについて⇒PR、申込み易さを工夫。内容の充実に対し受講のハードルが高くなる。受講者数が多すぎても顔の見える関係性づくりが難しい。

地域活動・卒業後の活動について⇒補助の仕組みを作ったが使われていない。

人材バンクについて⇒卒業後の活動につながるよう改良・てこ入れを予定。

入学者の属性について⇒区内在住者が半分、在勤者・在学者は非常に少ない。

【受講生の期待】

千代田区を知りたい、地域活動をはじめたい(半数)自分の学びを高めたい(半数)

区の情報、地域参加への導線、同じ考えを持つ人と出会いたい

【変遷とプログラム内容】

基本理念「学びで人と地域をつなぎ、グローバルとローカル、社会と個人の交流の場をめざし、学びを地域に還元し社会貢献に積極的な人材をサポートする」

＜地域デザインコース＞

千代田区を学び…「コミュニティの魅力を知る」

生涯学習意欲を高め…「自分の可能性を知る」

地域活動の実践につなげる …「コミュニティでの実践を知る」

「自分の可能性とコミュニティの未来をデザインする」

生涯学習の観点で強制でなく動機付け、きっかけ、千代田区を好きになってもらうことをベースに、時代で講座内容は変化しているが基本的コンセプトは変わっていない。

【卒業後の活動】(報告があったもののみを把握)

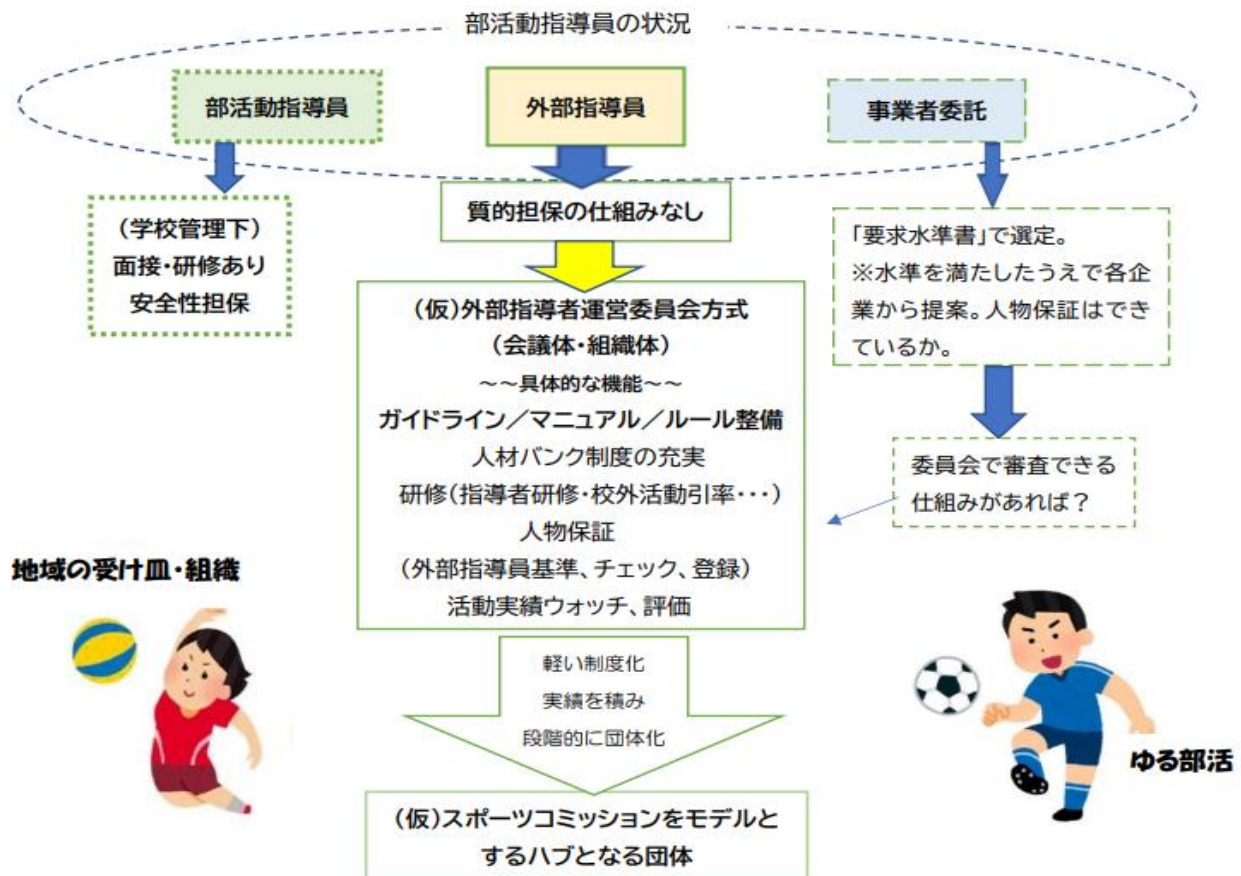
行政会議体委員、町会活動、ボランティア・コミュニティ活動に延べ67名が参加。

ちよカレサポーター、ちよカレ企画運営委員会として活動。



2. 分科会(2回目)議論の概要

第1分科会「部活動の地域移行に伴う生涯学習の役割」



※スポーツコミッション：スポーツを通じて、地域の人々だけではなく、他県や他国の人々を呼びこみ、地域活性化や地域経済への貢献などを目指していく組織

～提言に向けた意見の概要～

『コミッション』に向けた組織体創設

- ・学校、地域、保護者のハブとなる団体の機能(専門的スキルを持つ人材バンク、校外活動引率が担えるような研修の仕組みなど)の具体的な議論が必要。
- ・スポーツコミッションのような大きな団体は立ち上げに時間がかかる。現在ある事業者委託や卒業生、地域の人への依頼を尊重しながら「外部指導者運営委員会」のような組織体、合議体、会議体のほうがリアリティがある。

『組織体』立ち上げと役割

- ・「委員会」はガイドライン作成、指導者の研修などクオリティを担保できる組織体とする。
- ・人材バンクの水準を担保できる組織体がうまくいけばスポーツコミッションのような団体創設、と段階的に行ってはどうか。
- ・外部指導員はいるが、制度としてではなく現場調整と柔軟な対応で行っている。要件を確認しつつ事後的に人材バンク登録となるような軽い制度化、学校現場の融通性の良さを生かしながら徐々に団体化する方向性でよいのではないか。
- ・業者委託の現状を確認したい。犯罪履歴が無い証明書を求めるなど水準はどうか。顔が見える関係、人物や運営ができているかの評価を委員会で審議できると良い。
- ・「組織体」は外部指導員の基準、チェック、登録、研修を含むガイドライン作成、提示でどうか。

「ちよだ生涯学習カレッジ」について意見の概要

受講者の拡大、PR、卒業生のバリューが必要

- ・新しい住民が増えるなか、ちよカレの魅力の発信の仕方を検証する必要があるのではないか。
- ・創設から7年経ったが知名度が無いのでは。ちよカレそのものの発信力が必要ではないか。
- ・入学者が増えない課題について、卒業生100名や500あるサークル活動が連携してはどうか。
- ・卒業後にバリューがない。

運営体制、卒業後のつながりについて

- ・ちよカレ評議会をつくってはどうか。委員、区、カレッジ生が一体となって議論する場が欲しい。
- ・町会にかかわる卒業生が多いので、町会の課題も議論してはどうか。



～提言に向けて～

- ・第1分科会との共通テーマは「人材育成」
- ・生涯学習に集まった人たちに「次に進みませんか」と働きかける、巻き込んでいくことが、生涯学習の推進につながるのではないか。
- ・区の政策キーワードである「すべての人に」に向けた提言となるとよい。

リレー随筆

「AIは人間を超えるのか」

及川 早苗

政府は向こう5年間のリスキング予算として1兆円を投資するといっています。まさに「学びなおし」はコストではなく人への投資です。現在のように大きな変化が生まれる時代には、学習は自分自身の孤独な取り組みではなく、新たなツールを活用することも重要なポイントになってきます。生成型 AI と いわれる ChatGPT の活用はその良い例です。自然言語を使い、画像認識、音声認識などの分野で人間並み、あるいはそれ以上の性能を発揮しています。人は今こそ機能をどんどん活用していきたいものだと思います。

では、現在社会でよく話題になる「AIは人を超えるのか」という問題ですが、ChatGPTに聞いてみました。すると、「現在のAIはまだ、人間のような多様なタスクに対して対応することができません。また、感情を持つこともありません。AIがさらに学習し、進化することができれば、将来的には人間を超えることもあり得るかもしれませんが。」との回答でした。シンプルに要約された解説を切り取りましたが、つまりAIは人間の特性である豊かな感性と想像力の部分には、まだ到達していないと認識しているようです。

AIに人間の頭脳が取って代わられないような好奇心と発想力。それは日々変わっていく新たな時代の中で、AIと上手に共生していく人間力であろうと実感しています。

リレー随筆

「裏蓋(うらぶた)」

荻野 三冬

裏蓋を開けるのが好きだ。乾電池の交換しかメーカーは喜ばないが、私は大抵の電化製品は自前で修理できるとタカをくっている。リビングで威張っている59インチのレグザも毎晩お世話になるダイソンのヘヤドライヤーもちゃんと治ったのである。

全国紙の新聞沙汰になって氏名と全身写真が出たことが一度だけある。会員数を急激に伸ばしているアニメフィルムの会の若きリーダー紹介という他愛のない囲み記事だった。日本映画の歴代興行収入ランキングでは鬼滅の刃を筆頭に1位から6位までがすべてアニメという今日だが、記事が出た50年前はアニメファン自体が珍しかった。専攻は量子化学だったから学業にもおよそ関わりがなかった。

いざ就職となったときにこの一芸が身を助けた。アニメ話で盛り上がった面接のお陰で志望した会社にすんなり入れたと思っている。もちろん経歴にも肩書にもならず置き去りになった探求もたくさん。皆既日食観測、ブラジル音楽、民泊経営、アプリ作り、日曜大工、中国産うなぎの焼きかた…

(区が)生涯学習の機会を増やすこととは、好奇心の赴くまま裏蓋を開ける手助けをすることなのだと思う。経験から言えることは、役に立つ立たないとか、プロになるならないとか、そんなのはどうでも良い、表玄関から入ってゆくようなIT入門とか芸術・古典に親しむといった定形メニューはもう忘れて良い。特殊相対性理論は当時無名の特許局員が書いたものだし…

「学び」のすすめ

折原 守

人はなぜ、教育を受けたり、学習したりするのでしょうか？70近くなっても時折試験でうなっている夢を見る私ですが、教育や学習はやはり自分の人生を豊かにするため、といつも思います。で、そんな私とその豊かさを実感するひと時が、何かをやり終えてビールをゴクゴクッ、ゴクッと飲み、あ～おいしいと思うときです(実にささやか！)。

さて明治初期、国を挙げて近代化を進めようとしていた頃、福沢諭吉は「学問のすゝめ」を出版し、自ら学び考えることの必要性を説きました。だれでもが立身出世できうようになった新しい社会では、学問をすることがとにかく大事であること、そしてもう一つ、そうした人たち(独立した知識人たる市民)で形成される社会や国も、きちんと独立し発展していくということを、世の中に広めたのです。

その明治、そして平和で文化的な国家に生まれ変わろうとした戦後、どちらも国や社会全体の大変革期でしたが、それにうまく対応し、日本はこれまで発展してきました。しかし今日、残念ながら国でも地域でもいろいろと困難で新たな課題を抱えるようになっていきます。昭和と平成半々で過ごしてきた私ですが、今回も無事に乗り越えられるように(福沢先生の思いにも沿って)改めて「学びのすすめ」を呼び掛けたいのです。

「学び」は、自分の人生を豊かにしてくれるものです。そしてそれだけではなく、その人が構成者となる地域や地域社会そのものを豊かにし住みやすいものにしてくれるものです。千代田区で生涯学習がさらに推進されれば良い、その中で多様な活動に自ら取り組む方々がさらに多くなれば良い、と願ってやまない所以です。

さて、この原稿もこれで(無事?)終了、いよいよビールでしょうか？！